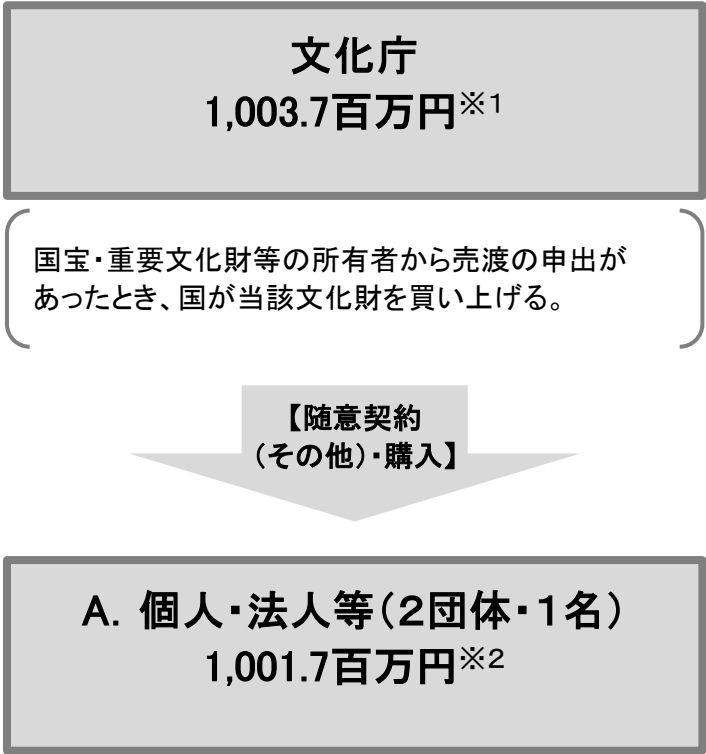


	令和5年度行政事業レビューシート					( 文部科学省 )	
事業名	国宝重要文化財等の買上げ			担当部局庁	文化庁		作成責任者
事業開始年度	昭和25年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	文化財第一課		課長 齋藤 憲一郎
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	文化財保護法 第46条			関係する 計画、通知等	国宝・重要文化財等買取基準、国宝・重要文化財等買取要領、 文化芸術推進基本計画(平成30年3月6日閣議決定)		
政策	12 文化芸術の振興			主要経費	その他の事項経費		
施策	12-1 文化芸術の創造・発展・継承と教育の充実						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisk02-000019646_12-1.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	国民共通の財産である国宝・重要文化財及びこれらに準ずる文化財(以下「国宝・重要文化財等」という。)の国内外での散逸を防ぐとともに、劣化やき損のおそれのある文化財を保護し、活用に努める。						
現状・課題 (5行程度以内)	国指定文化財については、所有者が適切に保存管理し、その公開活用に努める義務がある一方、専門的知見を有していないことによるき損や経済的な事由による転売、散逸などの危険性を常にはらんでおり、国に対する売り渡し申し出も数多く行われている状況である。						
事業概要 (5行程度以内)	このような状況に対応するため、国が保存管理の措置を講ずる必要がある文化財を買上げ、適切な保存管理を行う。また、重要無形文化財(工芸技術)を継承し、保護していくために、無形文化財資料(工芸技術作品)についても、前年度に工芸技術記録映画の製作対象となった重要無形文化財(各個認定)保持者の作品の他、日本伝統工芸展の受賞作品等を購入する。 さらには、これら買上げ・購入した文化財を展覧会等により広く公開活用することによって、国民の文化的生活の向上を促すことに繋げる。						
事業概要URL	-						
実施方法	直接実施						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	1,003	1,006	1,003.7	1,003.7	-
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	1,003	1,006	1,003.7	1,003.7	-	
	執行額(G)		986	1,005	1,001.7		
	執行率(%) =(G)/(F)		98%	100%	100%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		98%	100%	100%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	国宝重要文化財等の買上げ			※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。 ※買取待ちの文化財が多数あり、毎年買上げに必要な予算を要求しているものである。 ※重要政策推進枠 339百万円		
	(目)	国宝重要文化財等買上	1,002				
	(目)	事務費	2				
		その他	▲ 0	-			
	計(A)		1,003.7	-			

活動内容① (アクティビティ)		国が保存管理の措置を講ずる必要がある文化財を买上げる。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		国宝・重要文化財等の国内外での散逸 や劣化、き損の措置が必要となる文化 財を継続的に买上げる。	毎年度の買取件数	活動実績	件	8	22	9	－	－
				当初見込み	件	10	15	6	10	10
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	買上げた文化財の適切な保存管理のために、劣化やき損の恐れのある文化財を修理する。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 － 年度	
		買上げた劣化やき損の恐れのある文 化財の修理を継続して行う。	毎年度13件(R2～R4の買取実 績件数の年平均)以上の買上 げた文化財の修理実施	成果実績	件	18	13	14	－	
				目標値	件	13	13	13	13	
				達成度	%	138.5	100	107.7	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		国有美術工芸品保存修理契約等記録								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	買上げ・購入し、修理を含む適切な保存管理を実施している文化財を、展覧会等により広く公開活用する。								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 － 年度	
		買上げた文化財の8割について、公 開等により活用する。	活用した国有文化財割合 (国有文化財の活用件数/国 有文化財の総数)	成果実績	%	158	131.8	134.2	－	
				目標値	%	80	80	80	80	
				達成度	%	197.5	164.8	167.8	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		美術館及び博物館からの活用件数の集計								
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	買上げた文化財を公開活用する美術館及び博物館が増加することで、その施設を利用する国民の文化的生活の向上を促す。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 － 年度	
		買上げた文化財を公開活用する美術 館及び博物館の件数を増加させる。	85件(公開承認施設全106件 の約80%の件数)以上の美術 館及び博物館で買上げた文 化財の公開活用	成果実績	件	－	69	67	－	
				目標値	件	－	－	－	85	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和3年度無償貸付実績一覧、令和4年度無償貸付実績一覧								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

[illegible]

資金の流れ  
(資金の受け取り先が  
何を行っているかにつ  
いて補足する)  
(単位: 百万円)



費目・使途  
(「資金の流れ」において  
ブロックごとに最大の金  
額が支出されている者につ  
いて記載する。費目と  
使途の双方で実情が分  
かるように記載)

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
国宝重要文化財等買上	国宝・重要無形文化財の売渡	496			
計		496	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

